

コード	名称	区分	コード	名称
事業名	810-2 ゆめドームうえの維持管理経費	会計	01	一般会計
		款	10	教育費
		項	06	保健体育費
		目	03	社会体育施設費
基本 施策	34 だれもが気軽に楽しめるスポーツを振興する	細目	455	体育施設管理運営経費
		細々目	01	体育施設維持管理経費
行革大綱の重点事項番号		4		
担当部署	コード	450800		担当者
	名称	スポーツ振興課		氏名
				連絡先
				22 - 9680 (内線) 3835

事務事業の概要 (Plan)

対象(誰を、何を)	体育施設を利用する市民	※対象件数
成果(どうする)	適正に管理された状態で施設を利用できる。	
根拠法令・要綱等	三重県立ゆめドームうえの条例	
開始年度	平成	年度
終了年度	平成	年度
関連事業		
H21 事業 内容	ゆめドームうえの施設維持管理業務委託 (施設利用運営業務)	
社会情勢 の変化等	ゆめドームの業務委託については、適切な運営により年々利用者が増加してきているが、施設設備の経年劣化が生じている。	

整備内容(「施設の建設」「整備事業」のみ記入)

1 建設用地	
2 建設面積 (延床面積)	8,080㎡
3 規模・構造	
4 総事業費	千円

運営体制(「施設の建設」「施設の管理・運営」のみ記入)

1 運営主体	
委託先	伊賀市文化都市協会
2 配置人員	人
3 年間運営費	7,158 千円
4 市内の 類似施設	

事務事業実施にかかる業績とコスト(Do)

活動指標	指標名	単位	実績値		目標値	
			H20	H21	H22	H23
			施設開放日数	日	目標 360 実績 360	目標 359 実績 359
自主事業	本	目標 2 実績 2	目標 2 実績 2	2	2	

成果指標	指標名	指標設定の考え方	単位	実績値		目標値	
				H20	H21	H22	H23
				施設利用者数・自主事業参加者数	施設利用者数・自主事業参加者数	人	目標 100,000 実績 106,940

投入コスト	H20 決算		H21 決算		H22 当初予算		H23 当初要求	
	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)	
直接事業費計 (A)	47,643	51,123	49,707	49,707				
A の 財源 内訳								
国庫支出金								
県支出金	19,401	17,248	17,248	17,248				
地方債								
その他	15,379	18,093	15,372	15,372				
一般財源	12,863	15,782	17,087	17,087				
事業投入人件費 (B)	0.3 人	2,160	0.3 人	2,160	0.3 人	2,160	2,160	
フルコスト(A)+(B)	49,803	53,283	51,887	51,887				

事務事業の評価 (Check)

	判断の基準(該当項目に○をつけてください)	備考欄(特記事項)
必要性	法律(条例は除く)で実施が義務付けられている事業	
	個人の方だけでは対処し得ない社会的・経済的弱者を対象に、生活の安定を支援し、あるいは生活の安全網(セーフティネット)を整備する事業	
効果性	特定の市民や団体を対象としたサービスであるが、サービスの提供を通じて対象者以外の第三者にも利益が及ぶ事業	
	事業開始からの目標・目的を概ね達成している事業	
	市民にとっての必要性は高いが、多額の投資が必要、あるいは事業リスクや不確実性が存在するため、民間だけではその全てを負担しきれず、これを補完する事業	
	市民が社会生活を営むうえで必要な生活環境水準の確保を目的とした事業	
	国や県、民間が同様のサービスを提供している事業	
	市民の生命、財産、権利を擁護し、あるいは市民の不安を解消するために必要な規制、監視、指導、情報提供、相談等を目的とした事業	
	民間のサービスだけでは市場全体に望ましい質・量のサービスが確保できず、これを補完・先導する事業	
	受益の範囲が不特定多数の市民に及び、サービス対価の徴収ができない事業	
	事業の対象や環境の変化により、事業ニーズが薄れていない事業	
	【○をつけた場合、ニーズの具体的内容、根拠となるデータ等判断理由】	
	財政状況を考慮し、事業を休止した場合、市民生活への影響が大きい事業 【○をつけた場合、影響の内容及び判断理由】	
有効性	事務事業の継続、達成度や実績を高めることで成果指標の向上が期待できる。 基本施策の目的を実現するために現在の事務事業の内容は適切であり、基本施策に対して貢献度も高 サービス水準や対象を見直す余地がある。	○
達成度	当初設定した計画を 80%以上100%未満 実施している。 【計画に遅れが生じている場合、改善策】 予算の繰越の有無 無 【予算の繰越がある場合、繰越の種別】	
効率性	他の事業主体の活用、事業移管が可能である。 基本施策の中で類似・重複する事務事業がある。 【事業名】 受益者負担を求めることができる事業である。 全体コストにおける負担構成は適正である。 コストに見合った効果となっていない。効果を絞り込むことでコストを削減する余地がある。	○

昨年度の評価結果に基づく改善策への取り組み状況

改善策	施設設備に経年劣化の兆しがあることから、維持管理経費が増加傾向にあり、計画的な補修・更新を策定する必要がある。
昨年度の取組状況	【状況】 計画のとおり進んでいない 【詳細】 三重県政策部地域づくり支援室と調整

今後の方向性 (Action)

担当課長氏名	松本和久
【方向性】	現状維持
【理由】	稼働率が非常に高い施設であり、今後も事業を継続していく。
現時点における課題、その他	施設の経年劣化(平成9年建設)により、設備等の改修にかかる経費が増大している。1箇所につき50万円以上は県、50万円未満は市において改修することになっているが、財政上、早急な対応は難しい。
課題、その他に対する改善策(いつまでに、何を、どうする)	三重県政策部地域づくり支援室に対し、改修箇所を計画的に改修していくよう要望を継続していく。